



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 カルビー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2229 URL <http://www.calbee.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 江原 信
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 田邊 和宏 (TEL) 03-5220-6222
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	147,071	10.4	13,514	31.9	16,635	30.9	10,864	30.7
2023年3月期第2四半期	133,212	10.6	10,246	△23.0	12,711	△6.4	8,311	△9.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 15,804百万円(22.4%) 2023年3月期第2四半期 12,907百万円(39.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	86.97	—
2023年3月期第2四半期	64.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	266,206	192,083	68.4
2023年3月期	239,095	182,686	72.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 182,202百万円 2023年3月期 174,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	52.00	52.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	54.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	298,000	6.7	26,000	16.9	28,500	21.5	18,000	21.9	144.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) - 、除外 1社 (社名) Calbee North America, LLC

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	133,929,800株	2023年3月期	133,929,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	9,050,466株	2023年3月期	9,005,241株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	124,919,826株	2023年3月期2Q	129,126,339株

(注)期末自己株式数には、信託が保有する自社の株式を含めております (2024年3月期第2四半期288,055株、2023年3月期242,865株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております (2024年3月期第2四半期247,566株、2023年3月期第2四半期258,257株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2024年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数124,899,580株により算定しております。
- 当社は、2023年10月31日(火)に機関投資家・アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。この説明会の音声については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内事業が牽引し、147,071百万円（前年同期比10.4%増）となりました。国内事業の売上高は110,315百万円（前年同期比12.8%増）となりました。価格・規格改定効果に加え、人流の増加に伴う土産用製品の販売増、および前年に実施したばれいしょ不足による販売調整が解消したことも増収に寄与しました。海外事業は、中華圏不調も、英国やインドネシア等でのスナック菓子の拡販から、36,755百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

営業利益は13,514百万円（前年同期比31.9%増）となり、売上高営業利益率は9.2%（前年同期比1.5ポイント上昇）となりました。国内事業において、原材料価格は上昇しましたが、価格・規格改定効果および販売数量増による増益要因がこれを上回りました。経常利益は、円安の進行に伴う為替差益の営業外収益への計上により、16,635百万円（前年同期比30.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,864百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

事業別売上高は以下のとおりです。

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
国内食品製造販売事業	97,782	110,315	+12.8
国内スナック菓子	90,051	102,908	+14.3
国内シリアル食品	13,432	13,182	△1.9
国内その他	5,619	6,419	+14.2
リベート等控除	△11,320	△12,194	—
海外食品製造販売事業	35,429	36,755	+3.7
食品製造販売事業 計	133,212	147,071	+10.4

* 「国内スナック菓子」「国内シリアル食品」「国内その他」の売上高はリベート等控除前の金額を記載しています。

(食品製造販売事業)

食品製造販売事業は、国内事業、海外事業ともに前年同期比で増収となりました。

(国内食品製造販売事業)

・国内スナック菓子

国内スナック菓子は、前年同期比で増収となりました。

製品別売上高は以下のとおりです。

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
ポテトチップス	40,622	46,096	+13.5
じゃがりこ	18,964	21,363	+12.6
その他スナック	30,464	35,448	+16.4
国内スナック菓子 計	90,051	102,908	+14.3

*1 製品別の売上高はリベート等控除前の金額を記載しています。

*2 前期の「新価値製品・その他スナック」を当期より「その他スナック」に名称変更しています。

- ・ポテトチップスは、「うすしお味」等の定番品や「堅あげポテト」が販売を牽引し、前年同期に比べ増収となりました。
- ・じゃがりこは、定番品の販売好調に加え、新製品「じゃがりこ細いやつ」発売の貢献もあり、前年同期に比べ増収となりました。

・その他スナックは、「じゃがポックル」等の土産用製品の伸長に加え、小麦系、コーン・豆系スナックの販売が堅調であったことから、前年同期に比べ増収となりました。

・国内シリアル食品

国内シリアル食品の売上高は、シリアル市場全体の縮小もあり、販売数量減により13,182百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

・国内その他

国内その他の売上高は、甘しょ事業の卸販売増により、6,419百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

（海外食品製造販売事業）

海外食品製造販売事業は、前年同期比で増収となりました。

地域別売上高は以下のとおりです。

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
北米	11,194	11,563	+3.3	△2.4
中華圏	11,477	10,275	△10.5	△11.5
その他地域	17,526	19,841	+13.2	+7.0
リポート等控除	△4,768	△4,924	—	—
海外食品製造販売事業 計	35,429	36,755	+3.7	△1.1

*1 中華圏：中国、香港

*2 その他地域：英国、インドネシア、韓国、タイ、シンガポール、豪州

*3 地域別の売上高はリポート等控除前の金額を記載しています。

- ・北米は、豆系スナック「Harvest Snaps」や「かっぱえびせん」を中心とした日本発ブランドは伸長しましたが、スナック菓子の受託製造販売が減少したため、現地通貨ベースでは前年同期に比べ減収となりました。
- ・中華圏は、EC成長チャネルの販売は一部拡大しましたが、小売店舗向けやEC既存チャネルの販売不調により、前年同期に比べ減収になりました。
- ・その他地域は、英国、インドネシア、タイで販売増となり前年同期に比べ増収となりました。英国では、Seabrookブランドのポテトチップスの販売増や新製品の投入が寄与し、インドネシアではポテトチップスを中心に増収となりました。また、タイにおいては、前年7月のGreenday Global社連結子会社化および主力製品「JAXX」等の販売増が貢献しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ27,110百万円増加し、266,206百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加に加え有形固定資産の増加によるものです。受取手形及び売掛金の増加は9月末日が銀行休業日だったことにより回収が翌月にずれ込んだことによるものです。有形固定資産の増加の主なものは、じゃがりこ製造設備の新設および広島新工場の建設です。

負債は、前連結会計年度末に比べ17,713百万円増加し、74,122百万円となりました。この主な要因は、短期借入金増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9,397百万円増加し、192,083百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によって利益剰余金が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は68.4%となり、前連結会計年度末に比べ4.4ポイント低下しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,860百万円増加し、34,152百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,318百万円の純収入となり、前年同期に比べ4,064百万円収入が減少しました。主な要因は、売上債権の増減額が、銀行休業日による入金のずれにより、前年同期に比べ減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10,251百万円の純支出となり、前年同期に比べ6,096百万円支出が増加しました。主に有価証券の償還による収入が減少したことおよび有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,173百万円の純収入となり、前年同期に比べ13,183百万円収入が増加しました。主に短期借入金の純増減額が増加したことによるものです。

(資本の財源及び資金の流動性に係る情報)

・資金需要の動向

当社グループの資金需要は、営業活動に係る資金支出では製品製造のための原材料費、労務費、経費および販売活動のための販売費、人件費、物流費等の支払いがあります。投資活動に係る資金支出では主に設備投資や成長投資にかかる資金需要、財務活動に係る資金支出は主に親会社の配当金にかかる資金需要があります。これらの資金需要に対しては、成長戦略「Change 2025」に基づき、2024年3月期～2026年3月期の3ヵ年で創出する営業活動によるキャッシュ・フローに加えて、手元資金等や借入金を活用する計画です。

資金需要の具体的な内容

成長投資…国内外の事業成長のための設備投資および新規領域投資、海外基盤強化のためのM&A等

効率化投資…ESG対応、自動化・省人化等の生産性向上のための設備投資

株主還元…連結ベースの総還元性向50%以上、DOE 4%目途

当第2四半期連結会計期間末時点での資金支出の状況は以下のとおりです。

	2024年3月期 第2四半期 (百万円)	3ヵ年計画 (2024年3月期～2026 年3月期) (百万円)	進捗率 (%)
成長投資	5,106	80,000	6.4
効率化投資	4,508	60,000	7.5
株主還元	6,493	25,000	26.0
合計	16,108	165,000	9.8

・資金調達の方法

当社グループの資金調達の方法としては、営業活動により得られたキャッシュ・フローに加えて金融機関からの借入金等を活用します。当社及び国内連結子会社においてはキャッシュ・マネジメント・システム（CMS）を導入し、グループ内資金を一元管理することにより、余剰資金を集中管理し資金の流動性確保、資金効率の向上を図っております。また、更なる資金の流動性を補完することを目的に複数の金融機関との間に当座貸越契約を締結しており、事業運営上の必要な資金の流動性は十分に確保していると認識しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想を、当第2四半期連結累計期間の業績および最近の業績の動向を踏まえ、下記の通り修正いたします。

売上高および営業利益は、主に国内事業における好調な販売状況と価格・規格改定効果により、予想を上回る見通しです。また、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、上記に加え、第2四半期連結累計期間における為替差益の計上により、予想を上回る見通しです。

なお、今回発表予想の前提とした為替レートは、1米ドル＝145円（期初前提133円）です。

(単位：百万円)

	今回発表予想 (A)	前回発表予想 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
売上高	298,000	293,000	+5,000	+1.7
営業利益	26,000	24,000	+2,000	+8.3
経常利益	28,500	23,500	+5,000	+21.3
親会社株主に 帰属する当期純利益	18,000	15,000	+3,000	+20.0

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,167	37,096
受取手形及び売掛金	37,121	50,000
棚卸資産	23,352	24,840
その他	6,439	4,636
貸倒引当金	△110	△104
流動資産合計	98,970	116,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,574	38,219
機械装置及び運搬具（純額）	31,758	35,270
土地	16,330	16,533
建設仮勘定	16,796	17,943
その他（純額）	2,074	2,281
有形固定資産合計	101,533	110,247
無形固定資産		
のれん	23,222	23,409
その他	2,709	2,650
無形固定資産合計	25,932	26,060
投資その他の資産		
投資その他の資産	12,659	13,428
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	12,658	13,427
固定資産合計	140,124	149,735
資産合計	239,095	266,206

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,553	15,616
短期借入金	1,290	15,206
未払法人税等	3,702	4,663
賞与引当金	5,398	4,711
役員賞与引当金	99	69
株式給付引当金	37	—
その他	21,581	23,150
流動負債合計	45,663	63,417
固定負債		
役員退職慰労引当金	323	79
役員株式給付引当金	297	234
退職給付に係る負債	7,523	7,392
資産除去債務	748	751
その他	1,853	2,246
固定負債合計	10,745	10,704
負債合計	56,408	74,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,046	12,046
資本剰余金	3,242	3,242
利益剰余金	178,329	182,684
自己株式	△24,886	△24,972
株主資本合計	168,730	173,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	488	533
為替換算調整勘定	5,225	9,088
退職給付に係る調整累計額	△332	△419
その他の包括利益累計額合計	5,381	9,201
非支配株主持分	8,574	9,881
純資産合計	182,686	192,083
負債純資産合計	239,095	266,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	133,212	147,071
売上原価	90,436	98,709
売上総利益	42,776	48,362
販売費及び一般管理費	32,529	34,848
営業利益	10,246	13,514
営業外収益		
受取利息	54	173
受取配当金	19	24
持分法による投資利益	18	46
為替差益	2,402	2,912
その他	108	177
営業外収益合計	2,603	3,334
営業外費用		
支払利息	66	98
持分法による投資損失	1	—
減価償却費	52	82
その他	18	33
営業外費用合計	138	213
経常利益	12,711	16,635
特別利益		
固定資産売却益	11	7
投資有価証券売却益	—	75
助成金受入益	71	36
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	77	—
その他	1	1
特別利益合計	161	120
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	168	82
特別損失合計	169	84
税金等調整前四半期純利益	12,704	16,671
法人税、住民税及び事業税	3,227	4,590
法人税等調整額	905	820
法人税等合計	4,132	5,410
四半期純利益	8,571	11,261
非支配株主に帰属する四半期純利益	259	396
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,311	10,864

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	8,571	11,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	44
為替換算調整勘定	4,378	4,586
退職給付に係る調整額	△64	△87
その他の包括利益合計	4,335	4,543
四半期包括利益	12,907	15,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,045	14,684
非支配株主に係る四半期包括利益	862	1,120

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,704	16,671
減価償却費	4,943	5,079
のれん償却額	973	1,029
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	26	△17
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△832	△710
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△33
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	3	△3
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	1	57
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16	△261
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△125	△124
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△18	△243
受取利息及び受取配当金	△73	△197
支払利息	66	98
為替差損益 (△は益)	△2,263	△1,676
助成金受入益	△19	△36
持分法による投資損益 (△は益)	△17	△46
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△75
固定資産売却損益 (△は益)	△10	△5
固定資産除却損	168	82
売上債権の増減額 (△は増加)	△319	△11,814
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,426	△889
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,724	1,596
未払金の増減額 (△は減少)	△1,213	△1,789
その他	1,268	2,049
小計	13,568	8,738
利息及び配当金の受取額	84	197
利息の支払額	△73	△100
法人税等の支払額	△4,194	△3,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,383	5,318

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,483	△9,214
有形固定資産の売却による収入	10	22
無形固定資産の取得による支出	△482	△259
有価証券の取得による支出	△5,000	—
有価証券の償還による収入	9,000	—
投資有価証券の取得による支出	△157	△192
投資有価証券の売却による収入	46	225
貸付金の回収による収入	77	—
定期預金の預入による支出	△1,688	△3,278
定期預金の払戻による収入	579	2,424
差入保証金の差入による支出	△51	△28
差入保証金の回収による収入	31	10
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,061	—
助成金の受取額	19	36
その他	5	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,154	△10,251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	465	13,800
長期借入金の返済による支出	△86	—
自己株式の取得による支出	△0	△240
非支配株主からの払込みによる収入	445	279
配当金の支払額	△6,721	△6,493
非支配株主への配当金の支払額	△41	△96
リース債務の返済による支出	△72	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,010	7,173
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,908	1,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,126	3,860
現金及び現金同等物の期首残高	49,670	30,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,797	34,152

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。